

平成26年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1. 会計処理の特徴	1
2. 償還準備金積立方式のしくみ	2
3. 収支状況	3
4. 営業中道路の収支状況	5
5. 財務状況	6
6. 償還準備金の積立状況	8
7. 長期借入金の残高状況	9
8. 償還計画と実績の対比	10
9. キャッシュフロー計算書	11
10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移	12
11. 供用実績	13

1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

<根拠法令等> 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』(収入と費用の差)は全て投下資金(借入金)の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

- 福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路事業は、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

償還準備金積立方式を採用

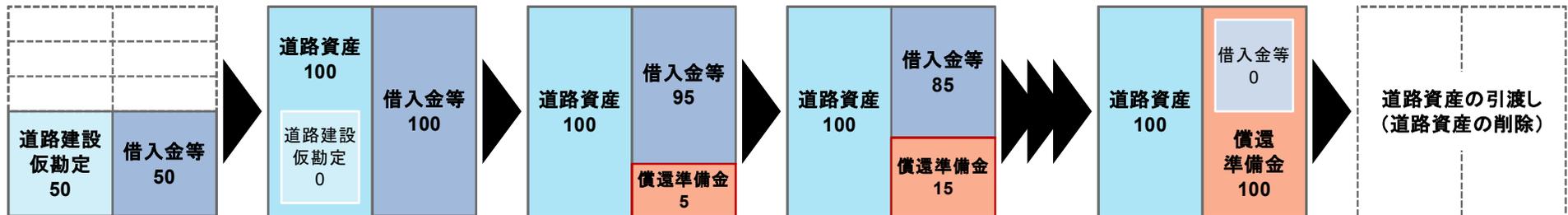
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



■ 貸借対照表



■ 損益計算書



3. 収支状況

平成26事業年度損益計算書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

（単位：百万円）

費用の部				収益の部			
勘定科目	H26年度	H25年度	増減額	勘定科目	H26年度	H25年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
経常費用	57,178	55,255	1,923	経常収益	57,228	55,893	1,335
事業資産管理費	12,574	10,050	2,524	業務収入	56,870	55,409	1,461
福岡高速道路管理費	8,537	6,345	2,192	道路料金収入	56,282	54,836	1,446
北九州高速道路管理費	3,934	3,601	333	(福岡高速道路)	39,595	38,536	1,059
福岡駐車場管理費	64	65	△ 1	(北九州高速道路)	16,687	16,301	386
北九州駐車場管理費	40	39	1	ETCマイルージ還元負担金収入	207	215	△ 8
一般管理費	1,406	1,452	△ 46	(福岡高速道路)	184	194	△ 10
一般管理費	1,256	1,229	27	(北九州高速道路)	23	22	1
その他	150	223	△ 73	駐車場料金収入	219	217	2
引当金等繰入	34,207	34,037	170	(福岡高速道路)	125	128	△ 3
道路事業損失補填引当金繰入	2,606	2,611	△ 5	(北九州高速道路)	94	89	5
(福岡高速道路)	1,833	1,835	△ 2	ETCマイルージ引当金戻入	0	9	△ 9
(北九州高速道路)	773	776	△ 3	(福岡高速道路)	0	7	△ 7
償還準備金繰入	31,601	31,426	175	(北九州高速道路)	0	2	△ 2
(福岡高速道路)	23,260	23,370	△ 110	その他	162	131	31
(北九州高速道路)	8,341	8,055	286	受託業務収入	290	344	△ 54
受託業務費	290	344	△ 54	負担金事業受入金	16	19	△ 3
負担金事業費	16	19	△ 3	業務外収益	52	122	△ 70
業務外費用	8,685	9,353	△ 668	受取利息	6	10	△ 4
債券利息	6,235	6,437	△ 202	その他	46	112	△ 66
借入金利息	2,211	2,708	△ 497				
その他	239	208	31				
特別損失	0	583	△ 583				
固定資産無償譲渡損	0	583	△ 583				
固定資産無償譲渡損	0	583	△ 583				
当期利益金	50	55	△ 5				
合 計	57,228	55,893	1,335	合 計	57,228	55,893	1,335

（注）端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

【道路部門】

(1) 福岡高速道路

- ① 経常収益は、398億9,000万円(対前年度比10億4,900万円の増)となりました。これは、消費税増税による高速道路通行料金の改定が要因です(通行台数は、対前年度比281台/日の減少)。
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、166億3,000万円(対前年度比11億5,900万円の増)となりました。これは、老朽化対策による補修費の増加や納付消費税の増加が主な要因です。支払利息は、残高金利の低下等により減少しました。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、232億6,000万円(対前年度比1億1,000万円の減)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

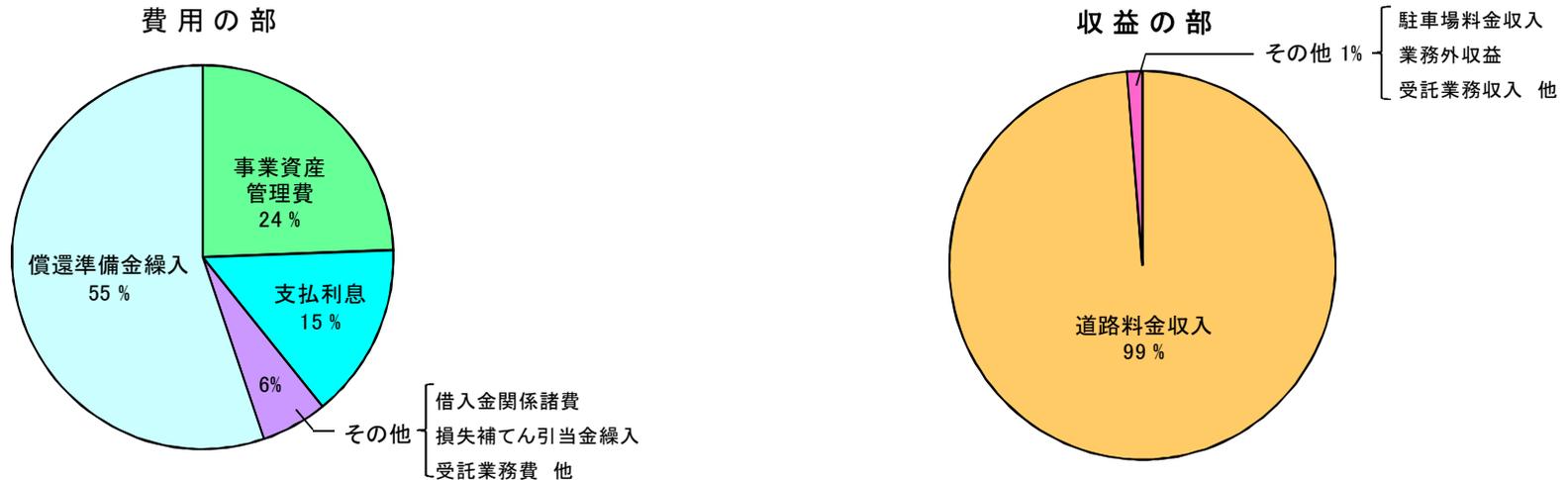
(2) 北九州高速道路

- ① 経常収益は、168億1,200万円(対前年度比3億4,400万円の増)となりました。これは、消費税増税による高速道路通行料金の改定が要因です(通行台数は、対前年度比521台/日の減少)。
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、84億7,100万円(対前年度比5,900万円の増)となりました。これは、納付消費税の増加が主な要因です。支払利息は、残高金利の低下等により減少しました。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、83億4,100万円(対前年度比2億8,600万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

【駐車場部門】

- ① 当期利益は5,000万円(対前年比500万円の減)となりました。

☆損益計算書の内訳(道路部門・駐車場部門の合計)



4. 営業中道路の収支状況(収支率)

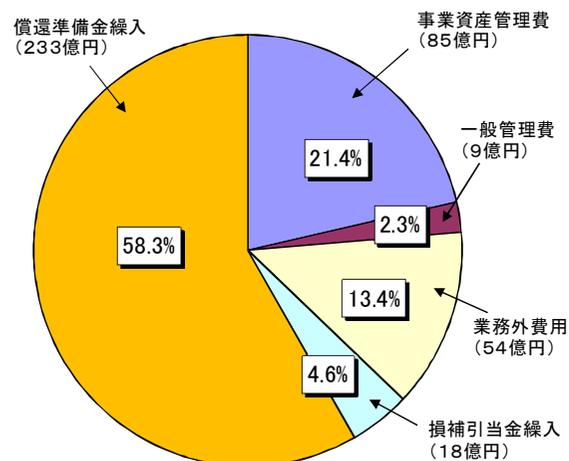
「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(単位:百万円)

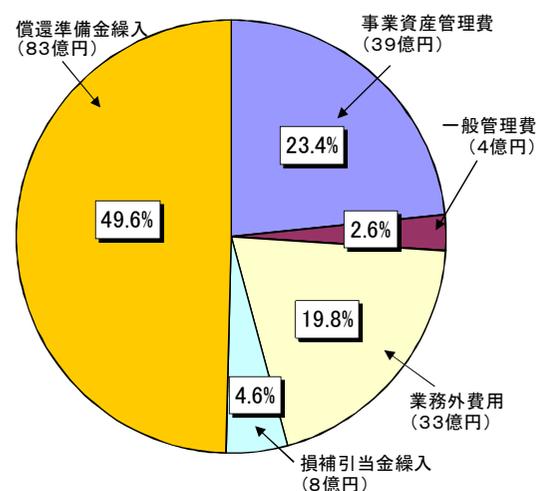
	福岡高速道路									北九州高速道路						合計										
	収益 A	営業中道路に係る費用						償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A× 100円	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A× 100円	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A× 100円	
		事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	特別 損失	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	特別 損失			計 B
H26	39,890	8,537	901	5,358	1,833	0	16,630	23,260	41.7円	16,812	3,934	445	3,320	773	8,471	8,341	50.4円	56,701	12,471	1,346	8,678	2,606	0	25,100	31,601	44.3円
H25	38,841	6,345	910	5,797	1,835	583	15,471	23,370	39.8円	16,468	3,601	480	3,554	776	8,412	8,055	51.1円	55,309	9,946	1,391	9,352	2,611	583	23,883	31,426	43.2円

(注)端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

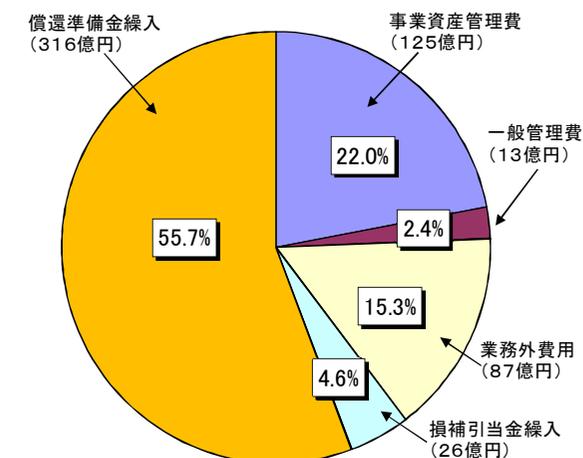
福岡高速(費用の内訳)



北九州高速(費用の内訳)



合計(費用の内訳)



5. 財務状況

平成26事業年度貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	H26年度	H25年度	増減額	勘 定 科 目	H26年度	H25年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
流動資産	5,749	5,378	371	流動負債	88,787	80,984	7,803
固定資産	1,249,103	1,248,194	909	固定負債	580,808	621,595	△ 40,787
事業資産	1,246,863	1,245,020	1,843	福岡北九州高速道路債券	333,800	344,111	△ 10,311
(福岡高速道路)	871,216	869,771	1,445	長期借入金	239,775	270,090	△ 30,315
(北九州高速道路)	375,647	375,248	399	退職給与引当金	197	376	△ 179
事業資産建設仮勘定	0	0	0	ETCマイレージ引当金	146	129	17
(福岡高速道路)	0	0	0	資産見返交付金	6,889	6,889	0
(北九州高速道路)	0	0	0	特別法上の引当金等	363,892	329,685	34,207
有形固定資産	1,912	2,005	△ 93	道路事業損失補填引当金	24,518	21,913	2,605
その他	328	1,169	△ 841	(福岡高速道路)	5,448	3,615	1,833
繰延資産	860	869	△ 9	(北九州高速道路)	19,070	18,297	773
				償還準備金	339,374	307,773	31,601
				(福岡高速道路)	297,056	273,796	23,260
				(北九州高速道路)	42,318	33,977	8,341
				(負債合計)	1,033,487	1,032,264	1,223
				基本金	221,298	221,298	0
				剰余金	928	878	50
				(資本合計)	222,226	222,176	50
資 産 合 計	1,255,712	1,254,440	1,272	負 債・資 本 合 計	1,255,712	1,254,440	1,272

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(資産の状況)

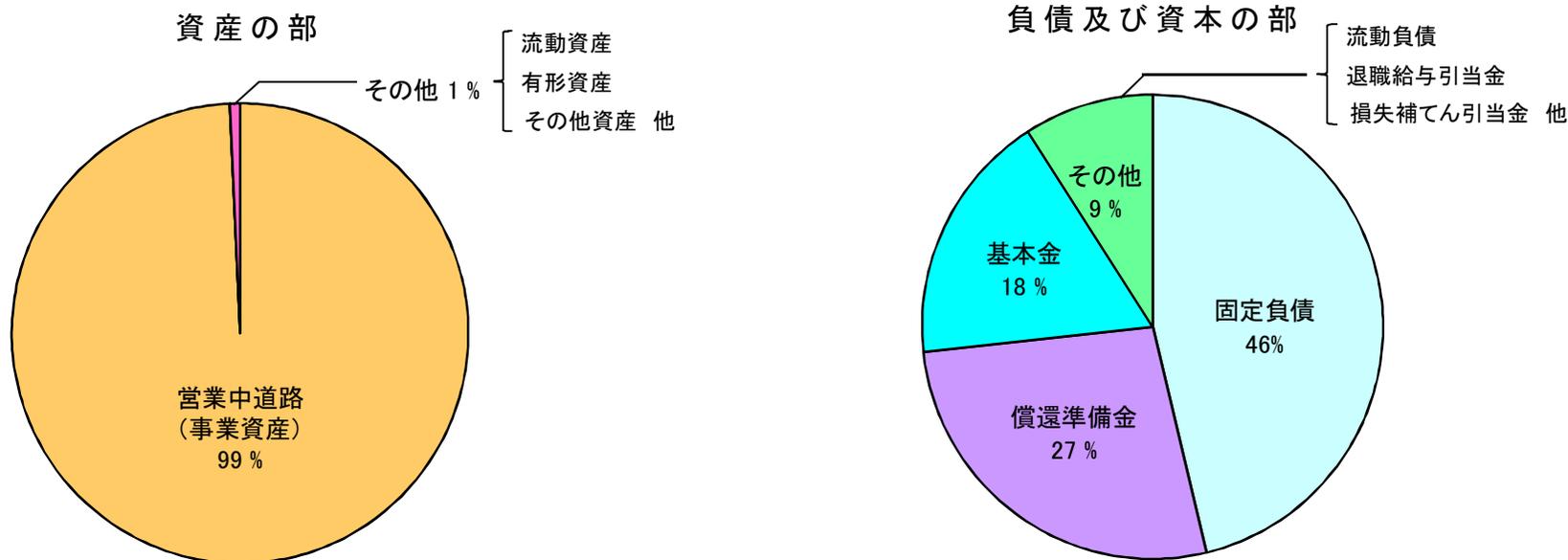
資産の総額は、1兆2,557億1,200万円となっています。このうち、営業中の道路資産は1兆2,468億6,300万円で、資産全体の約99%を占めています。

(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,557億1,200万円となっています。主なものは、道路債券などの借入金が6,567億100万円(流動負債計上分の短期借入金20億円と1年以内返済予定債券・借入金811億2,600万円及び固定負債計上分5,735億7,500万円の合計額)、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額(償還準備金)が3,393億7,400万円(福岡高速2,970億5,600万円、北九州高速423億1,800万円)、地方公共団体からの出資金が2,212億9,800万円となっています。

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

☆貸借対照表の内訳



6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H26	868,903	297,056	571,847	34.2%
H25	867,458	273,796	593,662	31.6%

【北九州高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H26	371,071	42,318	328,753	11.4%
H25	370,672	33,977	336,695	9.2%

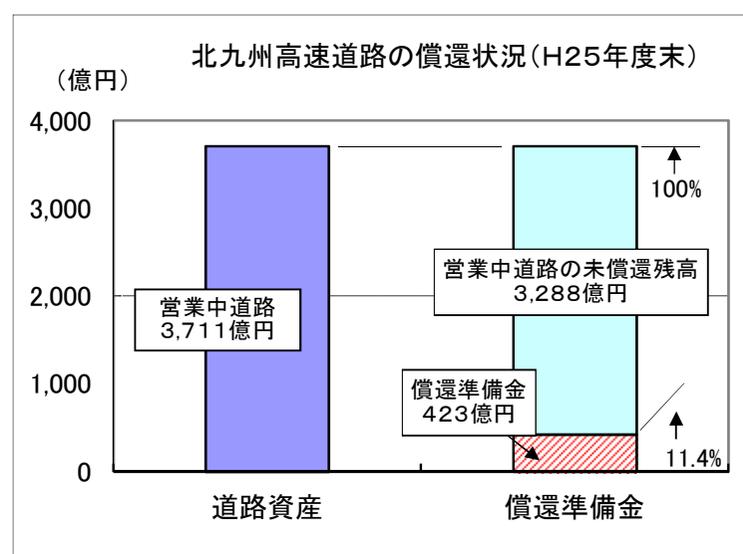
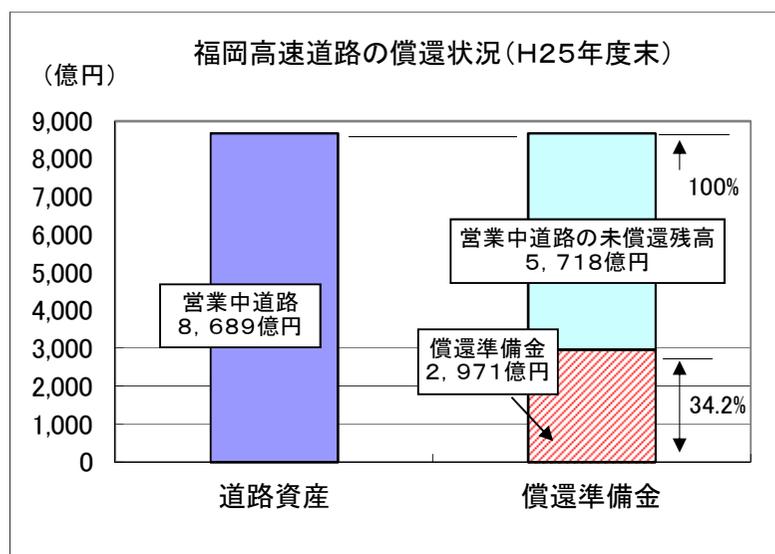
「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金(補助金)を控除した額。

「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

(単位:百万円)

	営業中道路の 資産総額 (a)	資産見返 交付金 (b)	営業中道路 (償還対象額) (a-b)
福岡高速道路	871,216	2,313	868,903
北九州高速道路	375,647	4,576	371,071



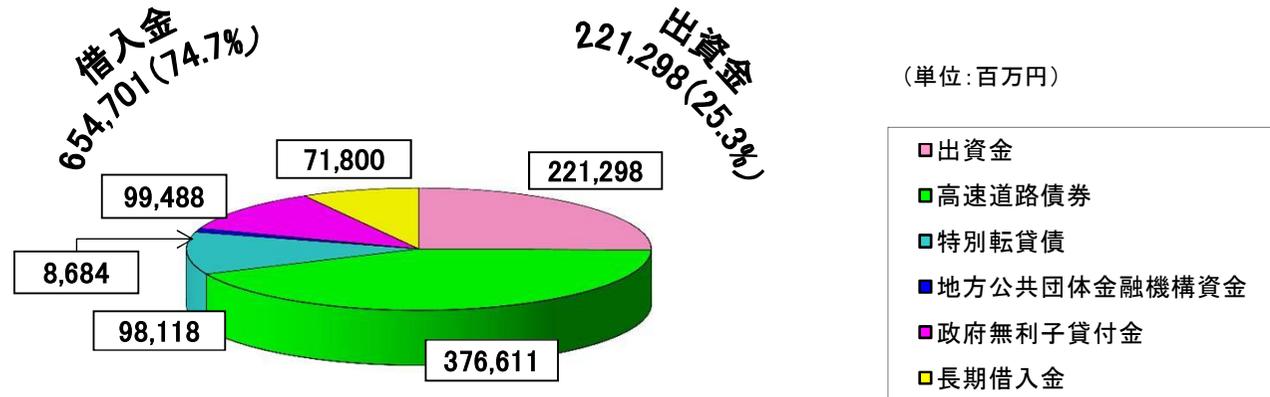
7. 長期借入金の残高状況

平成26年度末借入金残高

(単位:百万円)

	全 体			路線別内訳						
				福岡高速			北九州高速			
	H26年度	H25年度	増減額	H26年度	H25年度	増減額	H26年度	H25年度	増減額	
	A	B	A-B	A	B	A-B	A	B	A-B	
設立団体出資金	221,298	221,298	0	163,802	163,802	0	57,496	57,496	0	
借入金	高速道路債券	376,611	378,111	△ 1,500	211,709	215,497	△ 3,788	164,902	162,614	2,288
	特別転貸債	98,118	110,998	△ 12,880	79,747	89,054	△ 9,307	18,371	21,944	△ 3,573
	地方公共団体金融機構資金	8,684	9,705	△ 1,021	7,003	7,822	△ 819	1,682	1,883	△ 201
	政府無利子貸付金	99,488	115,247	△ 15,759	78,625	91,018	△ 12,393	20,863	24,229	△ 3,366
	長期借入金	71,800	73,800	△ 2,000	25,500	23,500	2,000	46,300	50,300	△ 4,000
	計	654,701	687,861	△ 33,160	402,584	426,892	△ 24,308	252,118	260,970	△ 8,852
合計	875,999	909,159	△ 33,160	566,386	590,694	△ 24,308	309,613	318,465	△ 8,852	

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



8. 償還計画と実績の対比

【平成26年度決算】

(単位: 億円)

道路名		収益(a)	費用(b)				償還準備金繰入(a-b)	償還準備金	事業資産(交付金除く)	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補填	金利	合計				
合 計	決算	567	138 (34)	26	87	251	316	3,394	12,400	27%
	計画	543	151 (19)	26	114	291	252	3,266	12,400	26%
福岡高速	決算	399	94 (24)	18	54	166	233	2,971	8,689	34%
	計画	358	106 (12)	17	67	190	168	2,799	8,689	32%
北九州高速	決算	168	44 (10)	8	33	85	83	423	3,711	11%
	計画	185	45 (7)	9	47	101	84	467	3,711	13%

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

●償還計画の対比方法

実績(平成26年度決算)と対比するため、償還計画に対し、収支計算と損益計算の差額を加減算しました。
 償還計画は、福岡高速は平成24年7月料金認可、北九州高速は平成20年10月料金認可を使用しました。
 償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差し引いたもので除しました。

●損失補填引当金

損失補填引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補填に充てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補填金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

損失補填金の残高は平成26年度末で245億円となっています。

9. 平成25・26事業年度福岡北九州高速道路公社キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	H26事業 年度 A	H25事業 年度 B	増減額 A－B
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
当期償還準備金繰入	316.0	314.3	1.8
当期利益	0.5	0.5	0.0
減価償却費	1.4	2.2	△ 0.8
債券発行諸費等償却	1.7	1.7	△ 0.1
退職給与引当金等の増減額	△ 0.7	△ 1.8	1.1
E T Cマイレージ引当金の増減額	0.2	△ 0.1	0.3
損失補てん引当金の増減額	26.1	26.1	△ 0.1
債券利息	62.4	64.4	△ 2.0
借入金利息	22.1	27.1	△ 5.0
未収金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	△ 5.3	△ 3.2	△ 2.1
未払金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	14.9	1.8	13.1
その他の増減額	0.3	6.3	△ 6.0
小計	439.5	439.4	0.2
利息の受取額	0.1	0.1	0.0
債券利息等の支払額	△ 62.8	△ 64.4	1.6
借入金利息の支払額	△ 22.3	△ 27.3	5.0
営業活動によるキャッシュ・フロー	354.5	347.8	6.7
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
事業資産の取得による支出	△ 15.2	△ 9.9	△ 5.3
建設仮勘定の取得による支出	△ 6.6	△ 5.7	△ 0.9
固定資産の取得による支出	△ 1.1	△ 0.1	△ 0.9
事業資産等の売却による収入	0.0	0.0	0.0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 22.9	△ 15.8	△ 7.1
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	20.0	20.0	0.0
短期借入金の返済による支出	△ 20.0	△ 20.0	0.0
長期借入による収入	79.7	79.7	0.0
長期借入金の返済による支出	△ 396.6	△ 440.6	44.0
債券の発行による収入	323.7	273.0	50.7
債券の償還による支出	△ 340.0	△ 240.0	△ 100.0
出資金の受入による収入	0.0	0.0	0.0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 333.2	△ 327.9	△ 5.3
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0.0	0.0	0.0
V 現金及び現金同等物の増加額	△ 1.5	4.1	△ 5.6
VI 現金及び現金同等物期首残高	5.9	1.8	4.1
VII 現金及び現金同等物期末残高	4.4	5.9	△ 1.5

※端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(注記) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	4.4 億円	5.9 億円	△ 1.5 億円
現金及び現金同等物	4.4 億円	5.9 億円	△ 1.5 億円

10. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

平成26年度

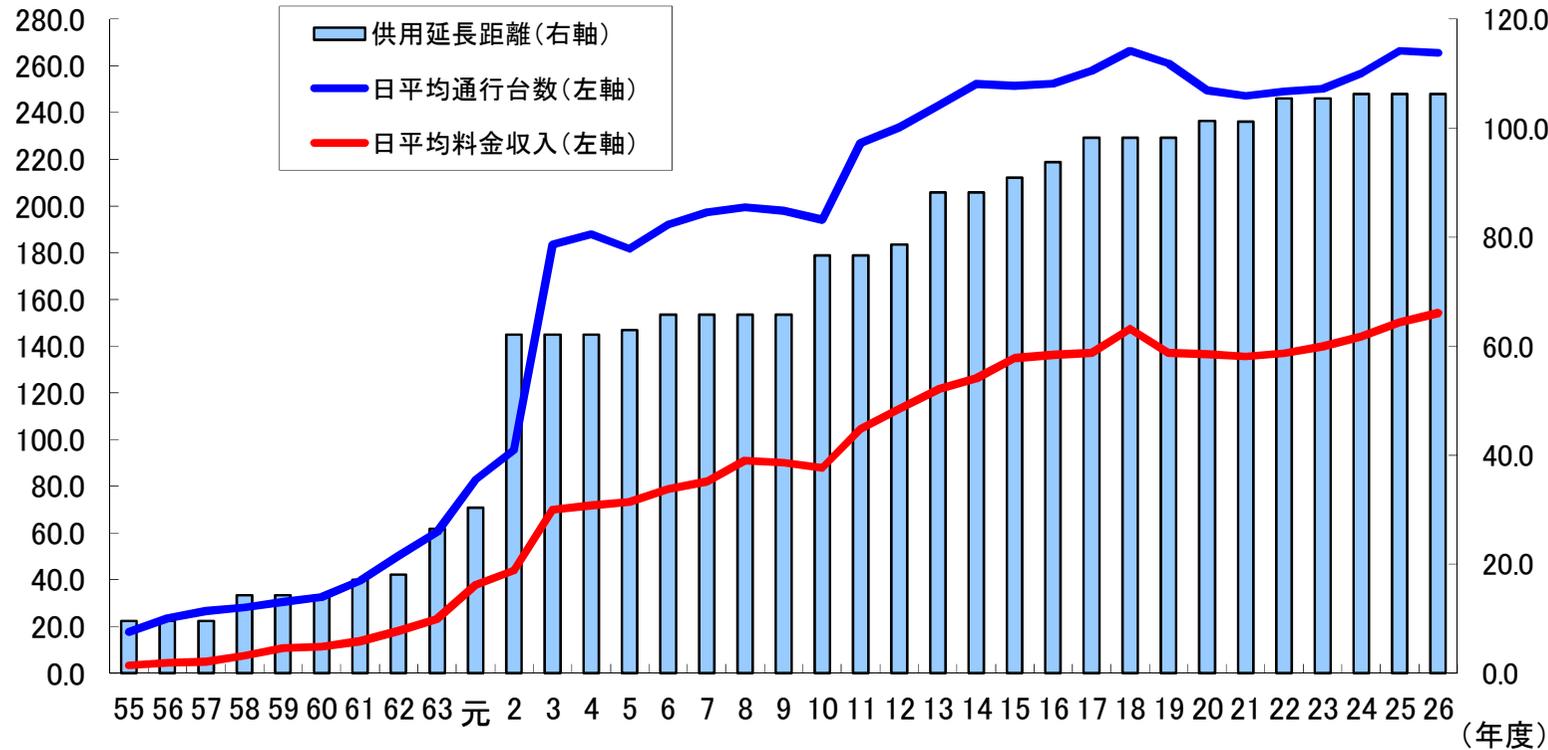
料金収入 **563億円**

日平均料金収入 **1.5億円**

日平均通行台数 **26.6万台**

日平均料金収入・通行台数
(百万円・千台)

供用延長距離
(km)



供用延長距離	
平成27年3月末現在	
106.3km	
料 金	
福岡高速	
普通車	620円
大型車1	230円
北九州高速	
普通車	510円
大型車1	030円

1 1. 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	5. 9	5. 9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3. 27	-	5. 9	貝塚入口		
	S58. 6. 30	-	5. 9	貝塚出口		
二次供用	S58. 10. 6	1. 5	7. 4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4. 23	0. 8	8. 2	千鳥橋 J C T～呉服町		
四次供用	S62. 11. 6	1. 0	9. 2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63. 10. 31	2. 1	11. 3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H1. 3. 4	5. 2	16. 5	西公園～百道	1, 000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T～空港通		
	H1. 10. 1	-	16. 5	料金改定 (消費税3%転嫁)	1, 030	510
	H2. 12. 25	-	16. 5	名島本線料金所拡幅		
	H3. 3. 21	-	16. 5	東浜西出口		
H4. 4. 23	-	16. 5	名島出入口			
H4. 7. 1	-	16. 5	東浜西入口			
七次供用	H5. 4. 2	0. 9	17. 4	香椎東～香椎	1, 030	510
八次供用	H6. 4. 4	2. 8	20. 2	榎田～月隈北		
	H9. 6. 1	-	20. 2	料金改定 (回数通行券料金)		
九次供用	H11. 3. 27	10. 8	31. 0	月隈～水城	1, 100	550
				貝塚 J C T～粕屋		
	H12. 3. 28	-	31. 0	料金改定・貝塚入口	1, 100	550
十次供用	H12. 11. 21	0. 5	31. 5	貝塚 J C T (渡り線)		
十一次供用	H13. 10. 13	5. 3	36. 8	百道～福重		
十二次供用	H14. 3. 10	1. 9	38. 7	粕屋～福岡 I C	1, 200	600
	H15. 5. 1	-	38. 7	料金改定		
十三次供用	H15. 5. 1	2. 7	41. 4	月隈 J C T～板付		
十四次供用	H16. 6. 27	2. 9	44. 3	西月隈出入口・板付～野多目	1, 200	600
十五次供用	H18. 3. 26	4. 4	48. 7	野多目～堤		
十六次供用	H20. 4. 19	3. 1	51. 8	堤～野芥		
十七次供用	H23. 2. 26	4. 1	55. 9	野芥～福重	1, 230	610
十八次供用	H24. 7. 21	0. 9	56. 8	福重 J C T (渡り線)		
	H26. 4. 1	-	56. 8	料金改定 (消費税5%→8%)		
備 考	福岡高速全号線に、ETC導入 (H18. 4. 1)					

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	3. 7	3. 7	日明～篠崎北	300	150
二次供用	S58. 10. 6	3. 2	6. 9	篠崎北～若園 東港出入口	700	350
	S59. 4. 21	-	6. 9	篠崎南出口		
三次供用	S61. 12. 2	2. 0	8. 9	若園～横代		
				篠崎南入口		
四次供用	S63. 12. 17	1. 1	10. 0	愛宕 J C T～下到津		
五次供用	H1. 8. 30	2. 8	12. 8	日明～戸畑	720	360
六次供用	H2. 3. 31	1. 0	13. 8	戸畑～若戸		
				東港 J C T～小倉駅北		
				西港出口		
				東港出入口廃止		
七次供用	H3. 3. 31	31. 8	45. 6	春日～馬場山 一部区間料金 (4号線)	300	150
					400	200
					500	250
					600	300
					720	360
	H5. 4. 1	-	45. 6	料金改定	720	360
	H7. 9. 30	-	45. 6	山路出入口	900	450
	H9. 6. 1	-	45. 6	料金改定 (回数通行券料金)		
八次供用	H12. 7. 26	1. 5	47. 1	長野～横代	1, 000	500
	H12. 11. 1	-	47. 1	料金改定		
九次供用	H13. 7. 2	2. 4	49. 5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T		
十次供用	H18. 2. 26	-	49. 5	小倉東IC接続		
	H26. 4. 1	-	49. 5	料金改定	1, 030	510
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設 (H17. 3. 31供用) 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設 (H18. 3. 4供用) 北九州高速全号線に、ETC導入 (H20. 11. 1) 北九州高速5号線と北九州市道東田出入口が接続 (H22. 12. 15)					

(注) 料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合同日です。